

半期を振り返って

突然ですが、皆様は「PDCA」をされていますか？

「PDCA」とは、ある目標を達成するために

計画を立て (Plan)
その計画に沿って行動し (Do)
その行動した結果を検証し (Check)
改善・見直しを行う (Action)



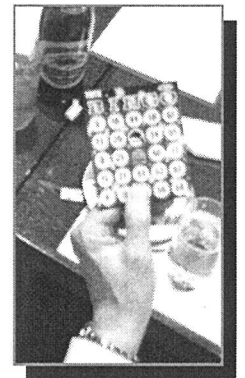
これらの項目をサイクルとしてまわし、継続的に業務改善することです。

去る8月2日、私たちは半期の振り返りと懇親会を行いました。

営業、FP、業務改善、HP、公会計の5つのグループに分かれそれぞれ年初に立てた1年間の活動計画の進捗状況を確認し、下期の行動計画を話し合いました。計画に沿って取り組み、成果は出ているか。目標に対して達成率が伸び悩んでいる項目については、どのように改善すれば目標値に近づけるのか。各グループは「目標達成のために今何をすべきか」を時間ギリギリまで話し合いました。

会議の最後は、グループリーダーがグループの行動計画の進捗状況や下期の行動予定について発表し、職員は疑問点を積極的に質問しました。

その後の懇親会では各グループごとにテーブルを囲み、おいしい料理に舌鼓を打ちながら下期に向けて英気を養いました。後半のビンゴゲームでは、**「早抜けがいい商品をGet出来るとは限らない」**ということで、抜けた者は1～24の好きな番号を言い、その番号に割り当てられた商品が獲得できるという内容でした。早く抜けてもポケットティッシュ4個！ということもあり、予測できない展開に大盛り上がりでした。そして、24人中最後の最後に抜けることができた社長は、急きょ導入された罰ゲームでメキシコ民謡の「つばめ」を歌い、その美声を職員に披露しました。



今年も折り返し地点を過ぎました。

私たちはPDCAで継続的に業務改善をし、皆様に喜んでいただける良い仕事をご提供できるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

病院・一般診療所の夏季賞与平均支給額（平成23年）

そろそろ夏季賞与の季節です。では、医療機関ではどの程度の賞与が支給されているのでしょうか。ここでは厚生労働省の「毎月勤労統計調査」から、病院と一般診療所における、平成22年と23年の支給労働者1人平均支給額などを、事業所規模別に紹介します。

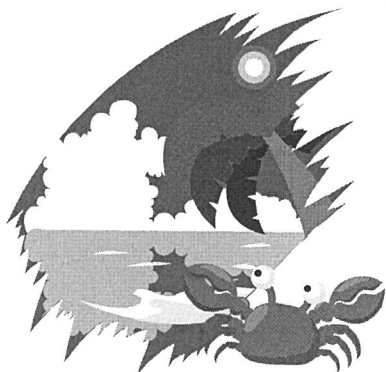


◎病院は増加、一般診療所は減少

病院	事業所規模 5～29人		事業所規模 30～99人	
	22年	23年	22年	23年
支給労働者1人平均 支給額（円）	142,506	158,650	203,435	210,835
きまって支給する給 与に対する支給割合 （ヶ月）	0.91	0.90	0.70	0.72
支給労働者数割合 （%）	72.0	100.0	100.0	100.0
支給事業所数割合 （%）	66.9	100.0	100.0	100.0
一般診療所	事業所規模 5～29人		事業所規模 30～99人	
	22年	23年	22年	23年
支給労働者1人平均 支給額（円）	197,994	182,120	249,152	248,690
きまって支給する給 与に対する支給割合 （ヶ月）	0.94	0.92	0.79	0.82
支給労働者数割合 （%）	85.3	85.4	100.0	100.0
支給事業所数割合 （%）	84.6	85.0	100.0	100.0

【病院】

23年の夏季賞与は事業所規模にかかわらず22年に比べ増加しました。きまって支給する給与に対する支給割合は、事業所規模にかかわらず22年と23年でほとんど変化がありませんでした。支給事業所数割合は、23年には事業所規模5～29人、30～99人とも100%となりました。



【一般診療所】

23年の夏季賞与は事業所規模5～29人、30～99人とも22年を下回りました。きまって支給する給与に対する支給割合は、病院と同様、ほとんど変化がありませんでした。支給事業所数割合は事業所規模30～99人は22年、23年とも100%ですが、5～29人については、85%程度にとどまっています。